

羊毛フェルトで「パンダのフローチ」を作ろう

- ◆日 時：3月18日（日）午前10時～12時
- ◆会 場：図書館本館 2階 会議室
- ◆講 師：石倉志寿佳氏
- ◆対 象：大人（高校生以上）
- ◆定 員：15名（先着順）
- ◆材料費：800円（当日集めます）
- ◆持ち物：羊毛フェルト用のニードルとスポンジ
（当日購入することもできます。200円）
- ◆申込み：3月3日（土）午前9時30分より図書館本館へ
※電話の申込みは10時より受け付けます
- ◆お問合せ：碧南市民図書館本館 電話（0566）41-0894



休館日

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ は本館の休館日です

- * 本館の特別整理期間のお休みは
2月22日（木）～28日（水）です。
- * 分館の特別整理期間のお休みは
2月16日（金）～21（水）です。

2月のギャラリー

雑誌無料配布

2月3日（土）～12日（月）

編集後記

2月は冬季オリンピックが開催されますね。私はフィギュアスケートが好きなので、日本勢だけでなく、海外の魅力的な選手の活躍も含め楽しみにしています。また、スキージャンプのレジェンド・葛西選手は同年代なので、精一杯のエールを送りたいと思います！（お）

けやきどおり通信（No.293）

編集・発行 碧南市民図書館

〒447-0057
碧南市鶴見町1-70-1
TEL：（0566）41-0894



けやきどおり通信



2018年2月 ～NO. 293～

図書館休館のお知らせ

蔵書点検のため、図書館各館は下記の期間休館いたします。
ご不便をおかけいたしますが、何卒ご協力をお願いいたします。

▽と き 分館 2月16日（金）～21日（水）

本館 2月22日（木）～28日（水）

※28日（水）は月末休館日のため全館休館

▽ご注意

図書館の休館中は、本・雑誌・紙芝居はブックポストから返却することができます。ただしCD・DVD・おもちゃ・複製絵画・大型絵本については、破損の恐れがあるため、開館後に図書館のカウンターへ直接お返し下さい。



蔵書点検とは？

図書館の所蔵している資料が、本当にあるのかどうかを確認するための点検作業です。一般的にいう『棚卸し』に似ています。図書だけでなく、雑誌・CD・DVDなど、図書館の資料は、本館・南部分館・中部分館・7つの公民館合わせて約57万3千点にものぼります。それを手作業で1点ずつバーコードを読み取って、データとつきあわせて確認をしています。地味な作業ですが、図書館にとって、とても大切な業務のひとつなのです。

特集

本をめぐる『本』

「世界の不思議な図書館」 アレックス・ジョンソン/著 創元社（010セ）

こんな図書館見たことない!?
ラクダ、ボート、電話ボックス、駅
やホテル、庭や公園だって、そこに
本があれば“図書館”になる。
世界の個性的で不思議な図書館を
のぞいてみませんか？

「世界の夢の図書館」 エクスタレッジ（010セ）

思わずため息をついてしまう豪華
絢爛な図書館から、先進的でモダンな図書館までを、美しい写真で
めぐる本。図書館好きにはたまらない1冊。



「本なんて! 作家と本をめぐる52話」

キノックス編集部/編 キノックス（019ホ）

総勢52名の作家による『本』にまつわるエッセイ。芥川龍之介や
室生犀星、夢野久作などの文豪から、浅田次郎、角田光代、万城目学
など、現代の人気作家までが本に寄せる思いを綴る。

「図書館ねこチューイ」

ヴィッキー・マイロン/著 羽田詩津子/訳 早川書房（645.7ト）暮らしの本

ある冬の朝、アメリカの小さな図書館で瀕死の子猫が見つかった。町の人々を癒し、世界
でも知られるようになった“図書館猫・チューイ”のことを綴ったノンフィクション。

「映画の中の本屋と図書館」 飯島朋子/著 日本図書刊行会（778エ）

『ノッティングヒルの恋人』の本屋や『美女と野獣』のお城の図書室など、映画に登場する
本屋や図書室、図書館に着目してご紹介。後篇もあります。

「図書室で暮らしたい」 辻村深月/著 講談社（914ツ）

作家になる前も、なってからも夢中で追い
続けた小説・漫画・アニメ・音楽、そして
美味しいものについてを語ったエッセイ。

「猫本屋はじめました」

大久保京/著 洋泉社（024ネ）

猫に関する本だけを取り扱う日本
初の書店“書肆^{しょうしや}吾輩堂”。
その店主が自身の猫狂い歴から、
書店開業について、さら
におすすめの猫本を紹介
するエッセイ。本と猫が
好きな人は是非どうぞ。



「離島の本屋」

朴 順梨/著 ころから（024リ）

北は礼文島から、南は与那国島、
小笠原諸島、さらには地元民だけ
が知るような家島まで——。
22の離島で灯りをともす小さな
本屋を紹介する。

「BIBLIO MYSTERIES（ビブリオミステリーズ）全3巻」

ケン・フルーエン/ほか著 ティスカヴァー・トゥエンティワン（933ビ）

NYミステリアスプレイス社による人気短編シリーズが、ついに日本でも出版。米英の有名作家
が手がけた、本屋や図書館を舞台にしたミステリー短編集。本格推理物から、サスペンス、幻想
的な作品まで幅広く展開する。

「図書館は逃走中」

デイヴィッド・ホワイトハウス/著 堀川志野舞/訳 早川書房（933ト）

孤独な少年ボビーが出会ったのは、2人暮らしの母娘。母親が働く図書館トラ
ックのたくさんの本に、たちまち夢中になるボビー。だがあるとき、いじめっ
こへの仕返し警察沙汰になってしまい、彼らは図書館トラックに乗り込み町
を離れ、未知の土地へと走り出した！果たしてその結末は？



「図書館の魔女 上下」

高田大介/著 講談社（Fタ）

ギリヒトは、史上最古の図書館に暮らすマツ
リカに仕えることになった。多数の言語を操
り策をめぐらせる彼女は“魔女”と呼ばれ恐
れられていたが、その正体は、自らの声を持
たないうら若き少女だった。

「活版印刷三日月堂 1～3」（文庫）

ほしおさなえ/著 ポプラ社（BFホ）

祖父の印刷所“三日月堂”を継いだ弓子のも
とには、いろんな悩みを抱えた客がやってく
る。彼らは活字と言葉の温かみに触れ、心を
癒していく。だが、弓子自信もまた心に抱え
るものがあって…。

「レジまでの推理」

似鳥 鶏/著 光文社（Fニ）

力仕事でアイディア仕事で、そのう
え客商売。書店の仕事は日夜てんて
こ舞い！ そのうえなぜか探偵仕事
まで発生して…？
書店でおこる事件に挑む書店員の活
躍を描いたミステリー。

「クローバー・レイン」

大崎 梢/著 ポプラ社（Fオ）

老舗の文芸出版社の編集者である工藤は、
ある日、作家・家永の分厚い原稿の束を偶
然見つける。出版する先も決まっていない
その作品は、素晴らしいものだったが…。
1冊の本が私たちの手元に届くまでを描い
た物語。



「追想五断章」

米澤穂信/著 集英社（Fヨ）

古書店でアルバイトをする大学
生の菅生芳光は、生前に父が書
いたという、結末を伏せた5つ
の小説を探していた。
その途中、22年前に起こった
未解決事件の存在を知り…。

「この本が、世界に存在することに」

角田光代/著 メディアファクトリー（Fカ）

「舟を編む」三浦しをん/著 光文社（Fミ）
→映画版DVDありもあります

「校閲ガール」宮木あや子/著 KADOKAWA（Fミ）
→シリーズ3作あります

あ
い
ま
す
色
々
ほ
か
に
も

「飲めば都」北村 薫/著 新潮社（Fキ）

「リケイ文芸同盟」向井湘吾/著 幻冬舎（Fム）

「桜風堂ものがたり」村山早紀/著 PHP 研究所（Fム）
→姉妹編『百貨の魔法』もあります

「れんげ野原のまんなかで」森谷明子/著 東京創元社（Fモ）
→続編『花野に眠る』もあります